

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 11 月 19 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h	28.4	106.8 kPa abs	A系： 0.31	vol %
		給水系：約 2.9 m ³ /h			B系： 0.33	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.4 m ³ /h	41.1	5.43 kPa g	A系： 0.07	vol %
		給水系：約 1.7 m ³ /h			B系： 0.07	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.6 m ³ /h	41.2	0.23 kPa g	A系： 0.19	vol %
		給水系：約 1.7 m ³ /h			B系： 0.18	vol %

絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- 【1号機】・11/19 12:15 原子炉の冷却に必要な注水量の評価結果に基づく注水量の変更のため、給水系からの注水量を約 2.9m³/hから約 2.5m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.9m³/hから約 2.0m³/hに変更。
- 【2号機】・11/17 10:14 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.9m³/hから約 2.0m³/hに調整。炉心スプレイ系からの注水量を約 4.4m³/hから約 4.5m³/hに調整。
・11/19 12:15 原子炉の冷却に必要な注水量の評価結果に基づく注水量の変更のため、給水系からの注水量を約 1.7m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.4m³/hから約 4.0m³/hに変更。
- 【3号機】・11/17 10:14 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.7m³/hから約 2.0m³/hに調整。炉心スプレイ系からの注水量を約 4.6m³/hから約 4.5m³/hに調整。
・11/19 12:15 原子炉の冷却に必要な注水量の評価結果に基づく注水量の変更のため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.5m³/hから約 4.0m³/hに変更。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中	16.2
3号機	循環冷却システム	運転中	16.1
4号機	循環冷却システム	運転中	26

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	11/18 10:06 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	11/15 10:18 ~ 移送実施中
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	11/19 10:02 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/19 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/10/23～ 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。

以 上